

訓練への住民参加増加と組織運営を盤石にした活動 ～宮代台自主防災会(宮代町)～



自主防災組織の紹介

- 創設:平成10年
- 加入世帯数:759加入世帯
- 地域の特徴:戸建住宅中心の地域



活動内容

1 想定される事態を踏まえ、多くの住民参加のもと実践的訓練を実施

班長が直接各世帯に参加を呼びかけ、毎年、半数世帯の参加で実施
常に参加世帯数を把握し、結果を会報で情報発信し、次回に反映

2 徹底的に要配慮者を把握し、訓練で方法を検証

名簿作成義務化前から全世帯対象に要配慮者調査を実施し、避難介助訓練で対応方法を常に検証

3 定期的なDIG訓練と防災サポーター制度の運用による組織運営強化！！！！

毎年、役員対象にDIG訓練を実施し、災害時の対応を常に検証
役員経験者や看護師等を防災サポーターに任命し、訓練運営等で役員をサポート

活動の成果

多くの住民の防災意識が向上し、防災サポーターの活躍により組織運営が強化され、より災害に強い地域へ

宮代台自主防災会に伺いました！

Q 防災訓練に毎年多くの住民を参加させるにはどうしたら良いでしょうか？

A 予定が決まったら、回覧板等で各世帯に周知しています。班長をとおして参加動員もかけています。また、防災サポーターの登録を行い、基本的なメンバーの確保も行っています。

Q 防災サポーターはどのようにしたら作れるでしょうか？

A まずは、防災役員経験者にお願ひします。次に、地域に消防OB、教職員経験者、医者、看護師、介護士などを自治会や町内会にも聞くなり、防災サポーターの募集をするなりして探し出し、防災訓練など防災活動で協力してもらえるようにしています。

Q 活動するに当たって苦労したこと、課題などがありますか？

A 人集めと住民個別の理解を得ていくのに苦労しました。災害弱者の避難方法や避難生活について、どのようにして実践的な訓練を実施するかが課題となっています。また、防災サポーターの強化や個々人の技術の強化も課題として組織内で取り上げています。

Q 要配慮者の把握はどのようにすべきですか？

A 民生委員や市町村防災担当にも協力を仰ぎ、調査を実施しています。宮代町では、町で取りまとめた名簿があったことから、この名簿を活用して把握を行いました。要配慮者の把握に当たっては、併行して、救助者もあらかじめ要救助者1人に対して数名程度指名して決めています。そして、両者を対象に避難誘導訓練を実施しています。

Q 役員対象のDIG訓練はどのように進めるべきでしょうか？

A 宮代町では、出前講座のメニューにDIG訓練があるので、地図・文房具は全て町で用意していただきました。また、役員に関わらず、県や市町村で開催される防災リーダー講座に参加するなどし、自ら体験するようにしています。まずは、地元の防災担当に相談するようにしています。